漢字と　読み｜書きかたの　練習｜なりたち｜読みかたと　書きかたの　問題

停

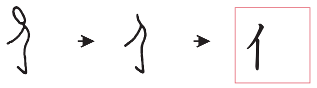
11画
人（ひと）の部

くん
—

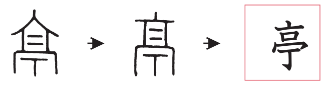
おん
テイ

となえかた
停 にんべんに（イをかいて） → 停 てん　一 → 停 口 → 停 ワで → 停 よこ たてはねる

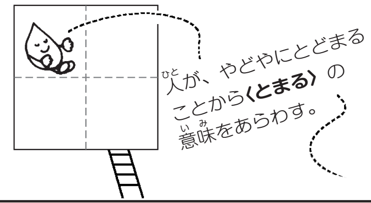
となえながら きちんと 書こう
停　停　停　停　停　停
1　3　5　8　10　つきでない



人のよこ向きの形。



旅人のとまる、やどやの、たかいたてもののこと。



人が、やどやにとどまることから**〈とまる〉**の意味をあらわす。

電車が、とつぜん 停（　　）車した。

地震で、自動列車□（て い）止装置が働いたらしい。

□（て い）電もしているので、しばらく動かないそうだ。

告

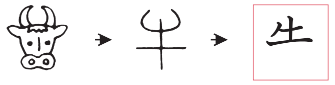
7画
口（くち）の部

くん
つげる

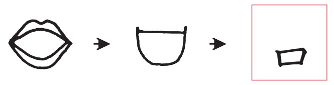
おん
コク

となえかた
告 ノ　一に → 告 たてで → 告 よこぼうながく → 告 そしてしたに 口つける

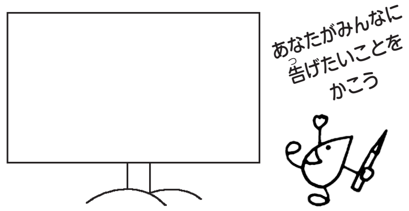
となえながら きちんと 書こう
告　告　告　告　告　告
1　3　4　5　つきでない



牛の顔の形。



口の形。



あなたがみんなに
告げたいことを
かこう

新聞の広 告（　　）に出ていた、話題の映画を見に来た。

照明が消えて、上映開始を □（つ） げるブザーが鳴った。

予 □（こ く） 編が長く、本編がなかなか始まらない。

喜

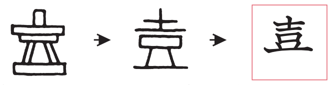
12画
口（くち）の部

くん
よろこぶ

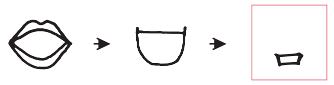
おん
キ

となえかた
喜 士 → 喜 口 → 喜 ソ → 喜 一 → 喜 口

となえながら きちんと 書こう
喜　喜　喜　喜　喜　喜
1　2　4　7　9　10　うえよりみじかく　ながく



楽器と、それをのせる台の形。



口の形。

国際女子マラソンの優勝を 喜（　　）ぶ、イタリアの選手。

去年は四位で、大 □（よろこ） びとはいかなかった。

その分、今回は全身で歓 □（き） を表していた。

史

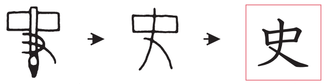
5画
口（くち）の部

くん
—

おん
シ

となえかた
史 口をひらたく → 史 左右にはらう

となえながら きちんと 書こう
史　史　史　史　史　史
1　2　4　5　はらう　はらう



手にふでを持って、紙に字をかく形。

紙に字をかくことから、あることがらを、そのとおりに正しく**〈記録〉**をするという意味になった。

わたしは、テレビの歴 史（　　）番組を見るのが好きだ。

世界の古い □（し） 跡などが紹介されると、わくわくする。

将来は、大学で古代 □（し） を学びたい。

漢字と　読み　｜　書きかたの　練習　｜　なりたち　｜　読みかたと　書きかたの　問題

救

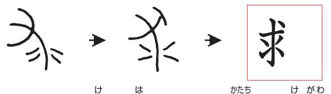
11画
攵（のぶん）の部

く ん
すくう

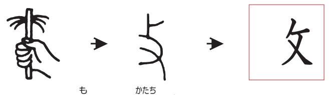
お ん
キュウ

となえかた
救 よこ たてはねて → 救 ンをかき → 救 チョン チョン つけて てんをうち → 救 ノ 一と つづけて → 救 左右にはらう （のぶん）

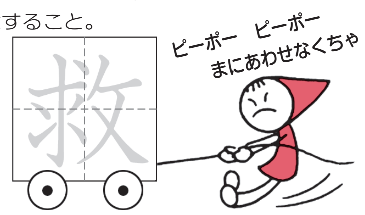
となえながら きちんと 書こう
救 救 救 救 救 救
とめる



手のまわりに毛が生えている形で、毛皮のこと。



手にむちを持った形で、かるくたたいて注意すること。


救
ピーポー　ピーポー
まにあわせなくちゃ

川に落ちた子犬を 救（　　）う方法は、なにかないか。

早く、□（すく）いの手をさしのべなければ、流されていく。

ちょうどそのとき、消防隊が □（きゅう）助にかけつけた。

殺

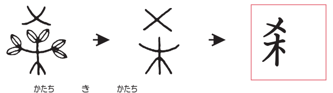
10画
殳（るまた）の部

く ん
ころす

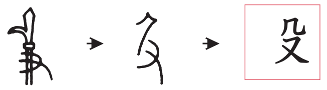
お ん
サツ・（サイ・セツ）

となえかた
殺 メ → 殺 木とかき → 殺 ルににた かたちで → 殺 フに右ばらい

となえながら きちんと 書こう
殺 殺 殺 殺 殺 殺
はねる　とめる



しばる形と木の形。



えの長いほこを手に持つ形で、たたくこと。

だれも　ここには
こないよ

息を 殺（　　）すようにして、結末の場面を見守る。

最後は、なぜか宇宙人が、人類をみな □（ごろ） しにした。

この映画には、苦情が □（さっ） 到するかもしれない。

得

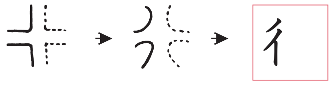
11画
彳（ぎょうにんべん）の部

く ん
える・（うる）

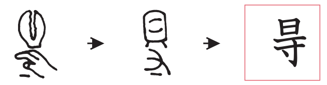
お ん
トク

となえかた
得 ぎょうにんべん（ノ　イとかき） → 得 日に → 得 よこ一で → 得 よこ　たてはねて てんつける

となえながら きちんと 書こう
得 得 得 得 得 得



十字路の左半分の形で、いくこと。



手で、貝（お金）と、ものをとる形。

歩いていて、お金やものをひろうことから、自分のほしいものを手に入れることで、**〈える・手に入れる〉** などの意味。

国語は 得（　　）意だけど、算数は苦手だ。

特に小数のわり算が、どうも要領を □（え） ないんだ。

台形の面積の求め方も、なんだか納 □（とく） がいかない。

歴

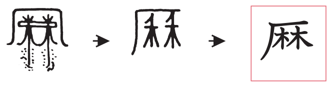
14画
止（とめる）の部

く ん
—

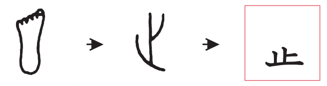
お ん
レキ

となえかた
歴 よこ一 → 歴 ノをかき → 歴 林に → 歴 止める

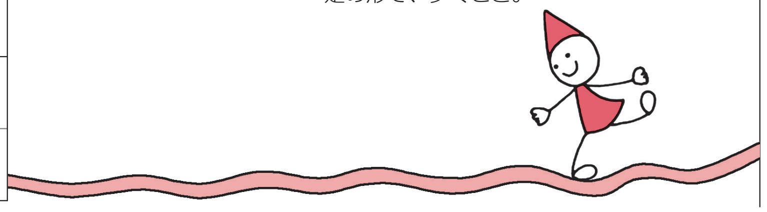
となえながら きちんと 書こう
歴 歴 歴 歴 歴 歴



屋根の下に、きまった間かくでいねをほす形。



足の形で、歩くこと。



わたしたちの学校には、古い 歴（　　）史がある。

□（れき） 代の校長先生は、全部で三十人以上になる。

なかには、元歌手という変わった経 □（れき） の人もいる。

漢字(かんじ)と　読(よ)み | 書(か)きかたの　練習(れんしゅう) | なりたち | 読(よ)みかたと　書(か)きかたの　問題(もんだい)

胃

9画(かく)
肉(にく)の部(ぶ)

くん
—

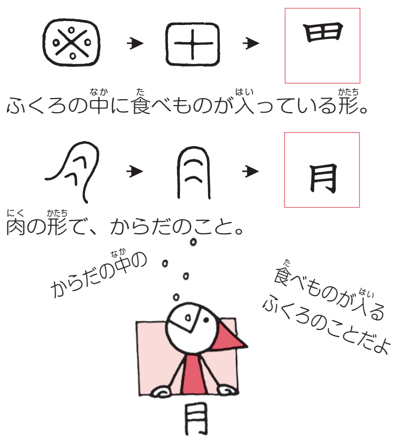
おん
イ

となえかた

胃　たて　かぎ　たてて
→ 胃　よこ2本(ほん)
→ 胃　たて　かぎはねて　よこぼう2本(ほん)

となえながら　きちんと　書こう

胃　胃　胃　胃　胃　胃


田
月
からだの中(なか)の
食(た)べものが入(はい)る　ふくろのことだよ
月

ふくろの中(なか)に食(た)べものが入(はい)っている形(かたち)。

肉(にく)の形(かたち)で、からだのこと。

（　　　）
車(くるま)によって、胃がむかむかする。

□(い)袋(ぶくろ)がひっくり返(かえ)るような気分(きぶん)だ。

このところ、□(い)腸(ちょう)の調子(ちょうし)はあまりよくなかった。

腸

13画(かく)
肉(にく)の部(ぶ)

くん
—

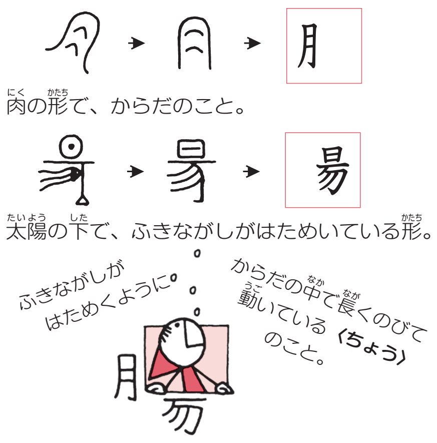
おん
チョウ

となえかた

腸　月(つき)をかき（にくづきに）
→ 腸　日(ひ)に　よこ一(いち)で
→ 腸　ノをかいて
→ 腸　かぎまげ　はねたら
→ 腸　ノをふたつ

となえながら　きちんと　書こう

腸　腸　腸　腸　腸　腸


月
昜
ふきながしが　はためくように。
からだの中(なか)で長(なが)くのびて　動(うご)いている〈ちょう〉のこと。
月
昜

肉(にく)の形(かたち)で、からだのこと。

太陽(たいよう)の下(した)で、ふきながしがはためいている形(かたち)。

（　　　）
腸は、食物(しょくもつ)を消化(しょうか)し、吸収(きゅうしゅう)する大切(たいせつ)な臓器(ぞうき)だ。

人間(にんげん)の小(しょう)□(ちょう)の長(なが)さは六(ろく)〜七(しち)メートルもあるんだって。

□(ちょう)炎(えん)で入院(にゅういん)したとき、看護師(かんごし)さんに教(おそ)わった。

脈

10画(かく)
肉(にく)の部(ぶ)

くん
—

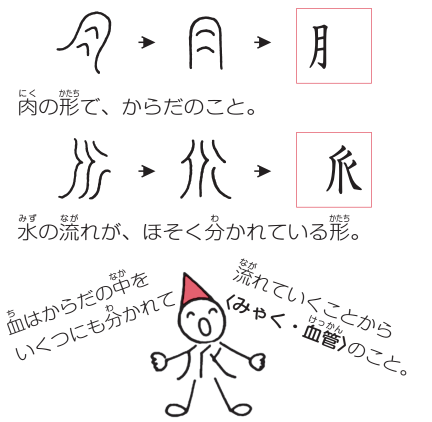
おん
ミャク

となえかた

脈　月(つき)をかき（にくづきに）
→ 脈　ノにノを　たてて
→ 脈　ノにたてぼう
→ 脈　左(ひだり)にはらって
→ 脈　右(みぎ)ばらい

となえながら　きちんと　書こう

脈　脈　脈　脈　脈　脈


月
𠂢
血(ち)はからだの中(なか)を　いくつにも分(わ)かれて
流(なが)れていくことから　〈みゃく・血管(けっかん)〉のこと。

肉(にく)の形(かたち)で、からだのこと。

水(みず)の流(なが)れが、ほそく分(わ)かれている形(かたち)。

（　　　）
遠(とお)くに木曽山(きそさん)脈を望(のぞ)む、大(おお)きな橋(はし)の上(うえ)。

父(とう)さんは散歩(さんぽ)の途中(とちゅう)、いつもここで□(みゃく)拍(はく)をはかる。

いい景色(けしき)を見(み)ると、なぜか□(みゃく)が落(お)ち着(つ)くんだって。

象

12画(かく)
豕(ぶた)の部(ぶ)

くん
—

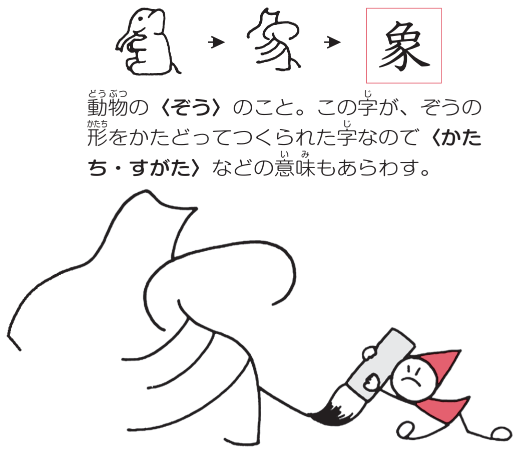
おん
ショウ・ゾウ

となえかた

象　クをかいて
→ 象　たて　かぎ　しきり
→ 象　そこふさぎ
→ 象　ノに　たてまげはねて
→ 象　ノノとつづけて　左右(さゆう)にはらう

となえながら　きちんと　書こう

象　象　象　象　象　象



動物(どうぶつ)の**〈ぞう〉**のこと。この字(じ)が、ぞうの形(かたち)をかたどってつくられた字(じ)なので**〈かたち・すがた〉**などの意味(いみ)もあらわす。

（　　　）
地球規模(ちきゅうきぼ)で、異常気(いじょうき)象が続(つづ)いている。

温暖化現(おんだんかげん)□(しょう)の原因(げんいん)の一(ひと)つは、森林(しんりん)の減少(げんしょう)だ。

森(もり)に暮(く)らすインド□(ぞう)は、どうなるのだろう。

漢字と　読み　｜　書きかたの　練習　｜　なりたち　｜　読みかたと　書きかたの　問題

貯

12画
貝（かい）の部

くん
—

おん
チョ

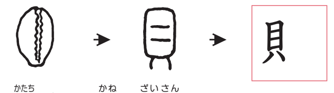
となえかた

貯 貝をかき → 貯 ウかんむりに → 貯 よこ → 貯 たてはねる

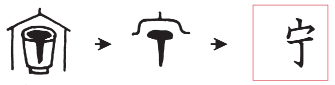
となえながら きちんと 書こう

つきでない

なりたち



貝の形で、お金や財産のこと。



家の屋根の形と、うつわに入れたものが、あふれだした形。

家の中にお金や財産が、あふれるほどたまっているねえ

読みかたと　書きかたの　問題

新しいゲームを買ったら、貯（　　）金がなくなった。

弟とちがって、ぼくには ちょ□ 蓄の才能はない。

おやつを机の奥に ちょ□ 蔵することは、できるけどね。

費

12画
貝（かい）の部

くん
（ついやす・ついえる）

おん
ヒ

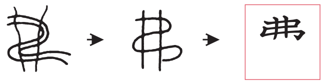
となえかた

費 弓をひらたく → 費 たてたノ たてぼう → 費 したにおおきく 貝をかく

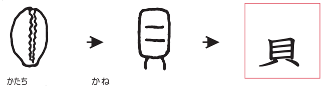
となえながら きちんと 書こう

はねる

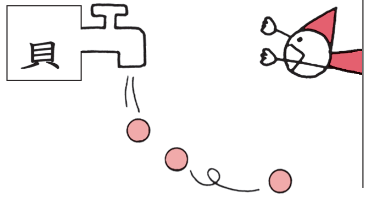
なりたち



ゆげと川の流れの形から、水が蒸発してなくなること。



貝の形で、お金のこと。



読みかたと　書きかたの　問題

海外旅行には、費（　　）用がたくさんかかる。

わが家では、来年を目標に家計の出 ぴ□ をおさえている。

浪 ひ□ をやめようと、最近は外食も少なくなった。

賞

15画
貝（かい）の部

くん
—

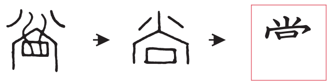
おん
ショウ

となえかた

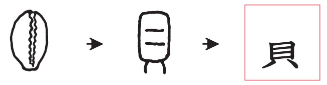
賞 たて チョン チョン → 賞 ワかんむりに → 賞 口と → 賞 貝

となえながら きちんと 書こう

なりたち



まどからけむりが出ている形。



貝の形で、お金のこと。

絵をかいて
賞をもらおう

読みかたと　書きかたの　問題

市の環境標語コンクールで、賞（　　）をもらった。

表彰式で、市長さんから直接、 しょう□ 状をいただいた。

しょう□ 品は、前からほしかった三十六色の色鉛筆だった。

粉

10画
米（こめ）の部

くん
こ・こな

おん
フン

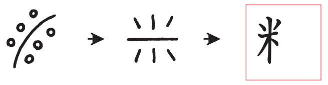
となえかた

粉 米へんに（ソ　木とかき） → 粉 八をかいたら → 粉 刀をしたに

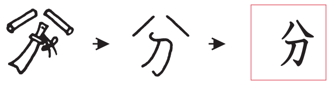
となえながら きちんと 書こう

はねる

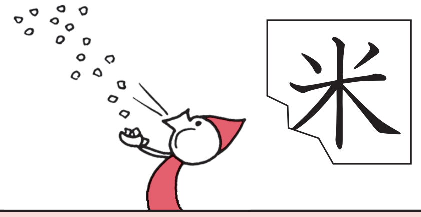
なりたち



いなほがたれている形で、米のこと。



ぼうを刀で二つに切る形で、分けること。



読みかたと　書きかたの　問題

計量カップで 粉（　　）の分量をはかる。

パンには、ねばりの強い強力 こ□ を使うんだ。

イーストは、乾燥させて ふん□ 末状にしたものを使う。

漢字と　読み　｜　**書きかたの　練習**　｜　**なりたち**　｜　**読みかたと　書きかたの　問題**

毒

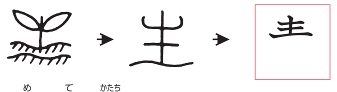
8画
母（はは）の部

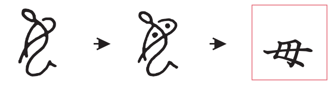
く ん
—

お ん
ドク

となえかた
毒 よこ　たて　よこ　よこ → 毒 くに　かぎまげはねて → 毒 なかをしきって → 毒 よこぼうとおす

となえながら きちんと 書こう
毒 毒 毒 毒 毒 毒
（1 2 5 6 7 8 ながく おる）


草の芽が出た形。


お母さんの形。

キケン
毒きのこじゃないよう

（　　）
庭の木にいた毛虫の 毒 で、手がかぶれた。

ハチの □（どく） 針にさされたときよりも痛かった。

お医者さんに行ったら、消 □（どく） して、薬をぬってくれた。

囲

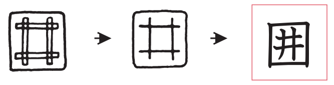
7画
囗（くにがまえ）の部

く ん
かこむ・かこう

お ん
イ

となえかた
囲 たて　かぎかいて → 囲 よこ２本 → 囲 たてぼう２本で → 囲 そこふさぐ

となえながら きちんと 書こう
囲 囲 囲 囲 囲 囲
（1 2 3 5 7 はらう とめる）


いどの形と、かこむ形。

たから箱のまわりを
しっかり囲もう

（　　）
周 囲 がなんだか、急にさわがしくなった。

ボディーガードに □（かこ） まれて、人気俳優が現れた。

ファンが包 □（い） して、サインをねだっている。

型

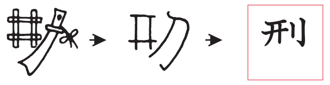
9画
土（つち）の部

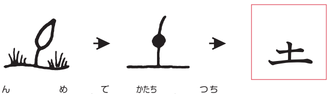
く ん
かた

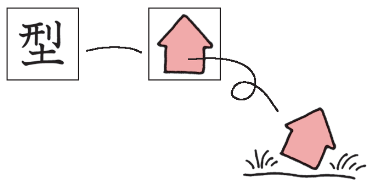
お ん
ケイ

となえかた
型 よこ　よこ → 型 たて　たて → 型 たて２本　おわりをはねたら → 型 土をかく

となえながら きちんと 書こう
型 型 型 型 型 型
（1 3 5 7 8 はらう）


わくと刀の形で、かたをつくること。


地面から芽が出た形で、土のこと。



（　　）
あれは、新しい 型 の自動車だ。

大胆に曲線を使った、□（かた） 破りなデザインだね。

低くて長いボディーは、典 □（けい） 的なスポーツカーだ。

堂

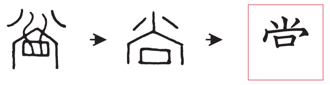
11画
土（つち）の部

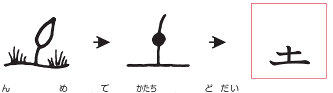
く ん
—

お ん
ドウ

となえかた
堂 たてぼう　チョン　チョン → 堂 ワをかいて → 堂 口をひらたく → 堂 土つける

となえながら きちんと 書こう
堂 堂 堂 堂 堂 堂
（1 2 4 6 9 10）


家のまどからけむりが出ている形で、高いたてもののこと。


地面から芽が出た形で、土台のこと。

（　　）
市の公会 堂 が新しく完成した。

□（どう）□（どう） とした、真っ白な五階建ての建物だ。

中には、しゃれた食 □（どう） もある。

漢字と　読み　**書きかたの　練習**　**なりたち**　**読みかたと　書きかたの　問題**

士

3画
士（さむらい）の部

く ん
—

お ん
シ

☆博士＝はかせ

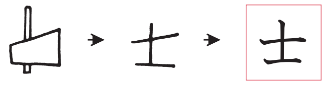
となえかた

士 よこ → 士 たてかいて → 士 みじかく よこぼう

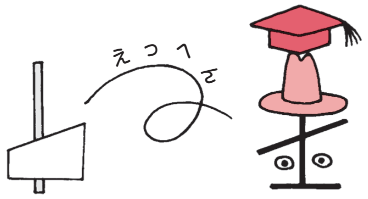
となえながら きちんと 書こう

士	士	士	士	士	士

うえよりみじかく


おのを立てておいた形で、兵士のこと。

王につかえた兵士のことで、〈りっぱな男の人・軍人〉の意味。



（　　）
職員室の前で、りっぱな紳士とすれちがった。

特別授業に招かれた、元宇宙飛行（し）□の人だった。

わたしたちも名前を知っている、地元の名（し）□だ。

航

10画
舟（ふね）の部

く ん
—

お ん
コウ

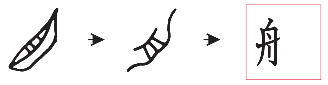
となえかた

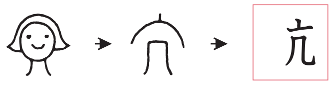
航 ノにノをたてて → 航 かぎをはね → 航 てん　てん よこぼう → 航 てん　一 かいて → 航 ノにかぎまげ はねて ルににた字

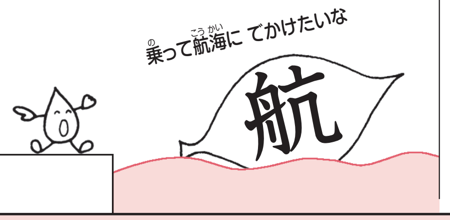
となえながら きちんと 書こう

航	航	航	航	航	航

もちあげる


ふねの形。


まっすぐに立つ首すじの形。


乗って航海に でかけたいな
航

（　　）
これから航海に出る豪華客船を見た。

（こう）□路は、七つの海をすべて通るそうだ。

世界一周するなら、ぼくは（こう）□空機のほうがいいな。

紀

9画
糸（いと）の部

く ん
—

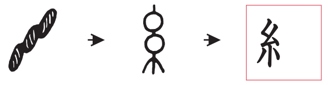
お ん
キ

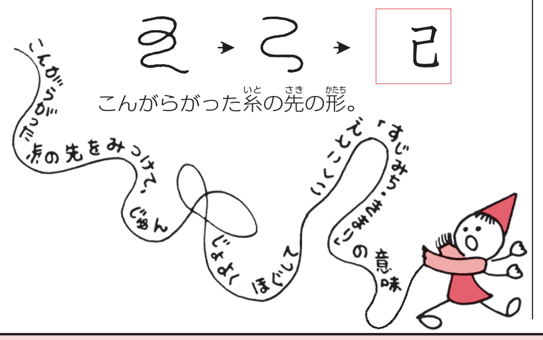
となえかた

紀 糸へんに → 紀 かなのコかいて → 紀 たてまげはねる

となえながら きちんと 書こう

紀	紀	紀	紀	紀	紀


糸をたばねた形。


こんがらがった糸の先の形。
こんがらがった糸の先をみつけて、じゅんじょよく ほぐしていくことで「すじみち・きまり」の意味

（　　）
紀行文の代表として世界的に知られる『東方見聞録』。

十三世（き）□末、アジアを旅したマルコ・ポーロが記した。

日本の（き）□行では、『土佐日記』などが有名だ。